

先生方、保護者の皆さま



マスク「外せない」は非常事態！！ マスクは「しない」が基本だよ！

今こそ、子どものマスク依存について真剣に考えてみませんか？

新型コロナ流行から、はや3年が経過しましたね。コロナも弱毒化し、2023年3月13日にはマスク着脱は個人の自由であることが再確認され、5月8日からはコロナ感染症の分類も5類に変更されます。もうコロナ前の生活に戻ってよいのです。

この3年間子ども達は、感染症の蔓延を防ぐため、誰かの命を守るためという理由で、マスクの着用をなかば強要されてきました。

その結果子ども達は…



…マスクを外せない状況に陥ってしまいました。

コロナ騒動を振り返ってみましょう

Q: コロナに感染したら死んでしまうのでは？

A: コロナウイルスの脅威は去りました。

オミクロン株変異以降の重症化率はわずか0.01%以下で、インフルエンザ(0.03%)よりも下。こうしたウイルスの変遷を踏まえた上での、5類移行です。

Q: マスクに感染予防効果はあったのか？

A: 1月30日、コクランレビュー(治療と予防に関する医療情報を科学的根拠に基づいて検証する国際組織)から、「マスクの着用は呼吸器系ウイルスの拡散を制御するか？」についての検証結果発表。

➡ マスク着用には感染を制御する効果は期待できない。

社会は非科学的な感染対策を子ども達に押し付けてしまっていたのです。3年間も…。

顔を隠して生きるのは危険！

子どもの健全な発達に、口を含めた表情は絶対に必要です。

大口を開けて笑う、 食事はぺちやくちゃおしゃべりしながら食べ、



合唱やカラオケで熱唱し、

大好きな人の笑顔を見てキュンとする。



どれも大事！顔を隠して生きていくことなどありません。